

COP10 「あいち・なごや開催計画」について

1. 目的

- ・ COP10 開催に向け、支援実行委員会を中心とした地元の取組について、広く周知するとともに、多様な主体の方々に参加、参画を呼びかける。
- ・ COP10 の成功に向け、条約事務局と国が行う会議運営に対して地元が行う「会議支援」と、自然と共生する地域づくりを促進するための「地域からの行動」などの具体的な内容を明らかにする。

2. 内容

わたしたちがCOP10 すべきこと

- I COP10 の成功に向け、万全の態勢で国際会議を支援する
条約事務局・国の会議運営を安心・安全、快適で円滑なものとするために、地域をあげて会議の運営を支援し、会議を成功へと導く。
- II 伝えたい愛知・名古屋の魅力を、国内外に広く発信する
COP10 を契機として、地域の多様な魅力を世界の人々に体感していただくとともに、国内外に向けて積極的に発信していく。
- III 自然と共生する地域づくりに向け、地域からの行動を展開する
COP10 を契機に、生物多様性に配慮し、自然と共生する地域づくりを促進するためのムーブメントを創出していく。
- IV ささまざまな主体と連携し、交流を深め、広げる
県民・市民、NGO/NPO、大学、研究機関、企業、会議参加者など多様な主体が互いに連携し、交流する機会を創出し、情報発信と交流を支援する。

I 会議支援

- 安心・安全の確保 : 警備協力、衛生管理、災害対策、救急対応
- 快適なサービスの提供 : 輸送、交通案内、サービス機能、バリアフリー
- 円滑な運営 : 宿泊、報道対応、ボランティア
- 環境と食への配慮 : 調達、資源の有効活用、輸送、食への配慮

II 愛知・名古屋の魅力発信

- おもてなし : エクスカーション、公式歓迎行事、地元情報の提供、ボランティア
- 環境技術の情報発信 : メッセナゴヤ2010
- 国内外のメディアを通じた広報 : プレスツアー、メディアに向けた地元の情報提供

III 地域からの行動

- 普及・啓発プロジェクトの推進 : 絵画・写真コンテスト、自然観察会、参加ふれあい木づかいでCOP10、講演会、「国際生物多様性の日」記念行事、開催1年前記念行事
- 国際会議の開催・支援 : 生物多様性国際自治体会議、子ども環境会議、世界ユース環境会議
- 多様な主体の取組への支援・協力 : 企業・学術・NGO/NPOへの支援・協力、成果発信への支援
- パートナーシップ事業の展開 : パートナーシップ事業の実施

IV 連携・交流

- 発表・交流の機会の創出 : 生物多様性のために“集う”場 ~白鳥地区~
- 生物多様性を体感し“行動”する場 ~愛・地球博記念公園~
- 生物多様性とCOP10を“発信”する場 ~栄地区~